

2017 年 4 月 25 日

子どもの感性や想像力を未来の社会づくりに生かす、子どもの声を聴く研究所

「博報財団こども研究所」を設立、 「大規模こども調査」結果発表

博報財団（公益財団法人 博報児童教育振興会）は、「博報財団こども研究所」を設立いたしました。

急速なグローバル化や同時多発する様々な技術の進化がもたらす 20 年後、30 年後の社会は、今の社会とは全く異なる様相に違いありません。その社会で暮らし、さらに次の社会を築いていく主役は今の子どもたちです。

当研究所は、これまでの財団の取り組みを土台に、時代とともに変容する子どもたちの声に真摯に向き合い、彼らの鋭い感性や豊かな想像力を次の社会づくりに生かしていきたいと考えます。

「子ども」「ことば」「教育」に関連する調査・研究・実践を行い、そこで発見した知見を子どもたち、学校・教育関係者、保護者をはじめ、広く世の中のみなさまに発信・共有していきます。

【大規模こども調査 結果サマリー】

子どもは、親・教員が思うより「最後まであきらめない・負けず嫌い」と自分を評価

① 【子ども自身による「今の自分」評価】

8 割の子どもが、「今の自分を『普通』」と評価。

・子どもが「今の自分」を表すことばトップ 3 は、「元気（91%）」「友達が多い（86%）」「普通（79%）」。

② 【子ども自身による「将来になりたい自分」評価】

「将来になりたい自分」では「最後まであきらめない」「努力する」等 頑張ることばが上位に。

・「最後まであきらめない（91%）」、「努力する（90%）」と、頑張ることばが 90%以上のスコアを獲得。

・「元気（94%）」「友達が多い（93%）」は、「今の自分」「将来になりたい自分」とともにトップ 2。

③ 【子ども自身による「今の自分」「将来になりたい自分」評価のギャップ】

「将来になりたい自分」で、「今の自分」より高いことばは「頭脳・能力系」。

・「将来になりたい自分」で、「今の自分」に比べてスコアを上げているトップ 3 は、「頭が良い（+46pt）」

「才能がある（+40pt）」「いろいろなことを知っている（+40pt）」。

いずれも、頭脳・能力系の言葉。

④ 【子ども自身による「今の自分」、親からの「今のこども」評価のギャップ】

子どもは、親が思うより、自分を「最後まであきらめない」「負けず嫌い」と評価。

・親評価より、子ども自身の評価が高いのは、「最後まであきらめない（+14pt）」 「普通（+7pt）」

「負けず嫌い（+7pt）」「友達が多い（+6pt）」

⑤ 【子ども自身による「今の自分」、教員からの「今のこども」評価のギャップ】

子どもは、教員が思うより、自分を「最後まであきらめない」「負けず嫌い」と評価。

・子どもの評価の方が高いのは、「友達が多い（+26pt）」「負けず嫌い（+24pt）」

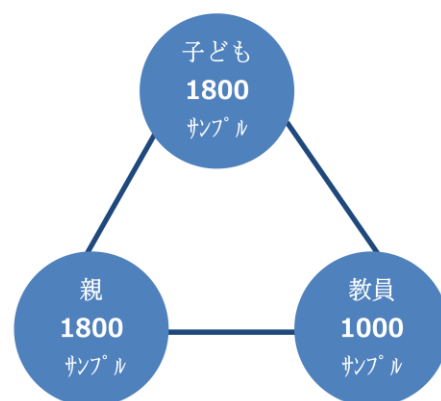
「最後まであきらめない（+21pt）」「勇気がある（+18pt）」。

■「こどもトライアングル調査 2016」～「子どもに聞いた『自分を表すことば』の調査」

「トライアングル」の3点は「子ども」「親」「教員」を意味します。
この調査では、「子どもへのインタビューで収集した24のことば」を呈示して、①子ども自身の評価、②親からの子ども評価、③教員からの子ども評価、3つのアングルを比較できるよう設計しました。

調査対象は、小学校1年生から中学3年生までの子ども1800、その親1800、小中学校教員1000となっており、サンプル総数4600、対象の子どもが9学年に及ぶなど、子ども調査としてはトップクラスの規模となっています。

今後も中長期的に調査を継続し、時代とともに変化する子どもを取り巻くことばの世界を洞察していきます。



◇所長のご紹介

博報財団こども研究所 所長 八木祥和（やぎよしかず）

1989 年情報通信企業入社。1996 年博報堂入社。

マーケティングプランナーとして得意先企業の市場調査や商品開発、コミュニケーションに関わる業務に従事。以降、博報堂のナレッジマネジメントの再構築の推進や、ショッパー・リテール領域を専門とするマーケティング部門の責任者などを経て、2017 年 4 月「博報財団こども研究所」立ち上げにともない所長に就任。東洋大学非常勤講師（2016 年～）、ビジネスモデル学会プリンシパル（2016 年～）。

◇博報財団こども研究所ウェブサイト <http://kodomoken.com>

◇博報財団こども研究所ロゴマーク



ロゴマークの形は子どもの声を聞く研究活動を象徴する「吹き出し」と未来をつくる子どもたちを象徴する「たまご」を組み合わせで作られています。

それを「コトタマ（言玉）」と名付けます。

複数のカラーを組み合わせ、子どもが多様であること、子どもがつくる未来もまた多様であることを表現しています。

博報財団（正式名称：公益財団法人博報児童教育振興会）は、株式会社博報堂が教育雑誌の広告取次業として 1895 年に創業以来、次代を担う児童の育成を重視して教育・文化面において行ってきた数々の後援事業の精神を引き継ぎ、1970 年に設立されました。新公益法人制度の施行に伴い、2011 年 4 月に公益財団法人に認定され、現在に至ります。児童教育の実践者を顕彰する「博報賞」をはじめ、「児童教育実践についての研究助成」「国際日本研究フェローシップ」「世界のこども日本語ネットワーク推進」など、「ことば」「文化」の領域を中心に児童教育の支援に繋がる 4 つの事業を行っています。

公式ホームページ <http://www.hakuhofoundation.or.jp/>

問い合わせ先：公益財団法人 博報児童教育振興会 博報財団こども研究所（武藤・八木）TEL. 03-5570-5008

E-mail. hakuho.foundation@hakuhodo.co.jp

【子ども自身による「今の自分はどんな人」評価】

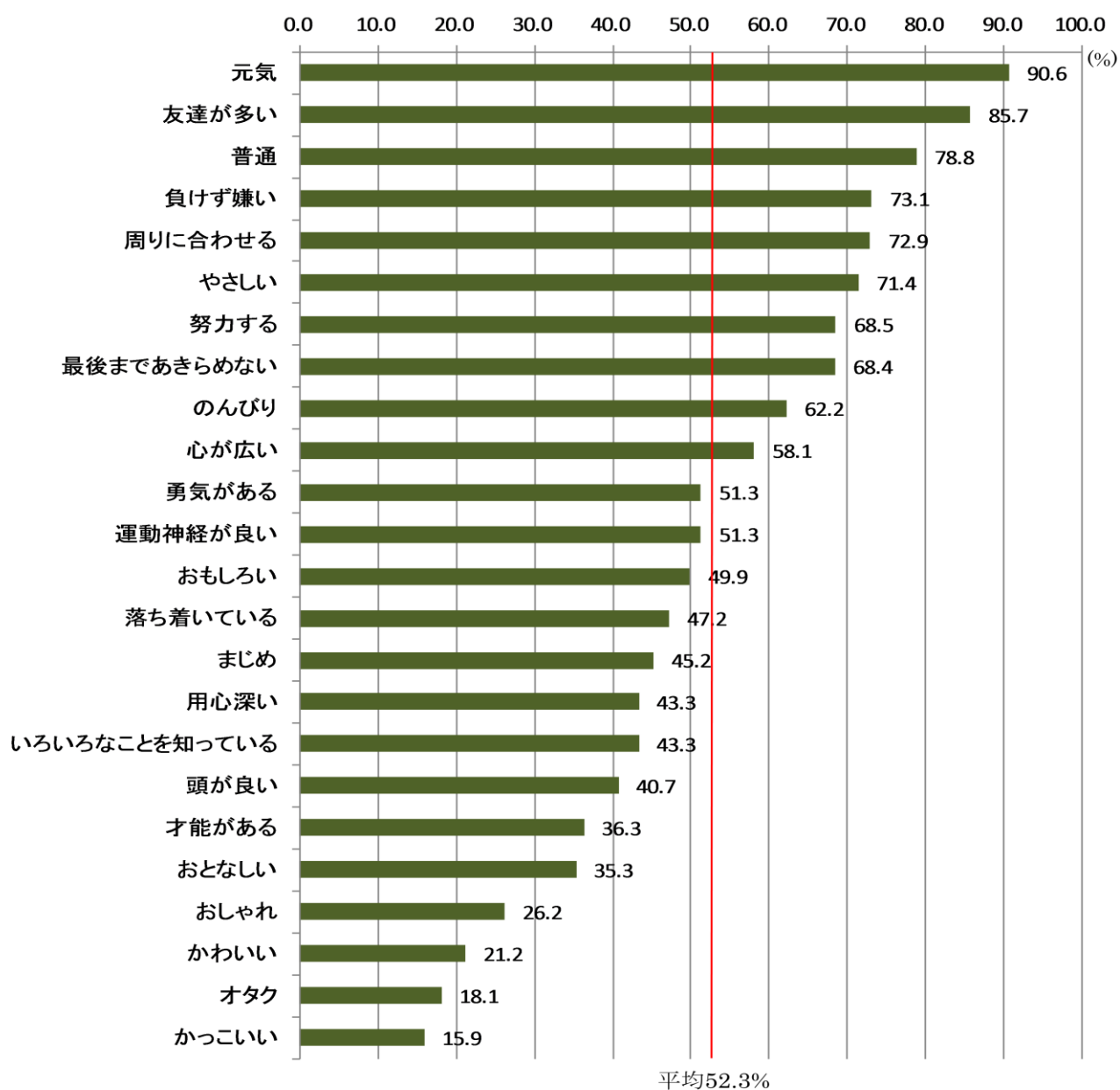
8割の子どもが、「今の自分を『普通』」と評価。

- 子どもが「今の自分」を表す「ことば」トップ3は、「元気 (91%)」「友達が多い (86%)」「普通 (79%)」。
- 一方、スコアの低い「ことば」は、「かっこいい (16%)」「オタク (18%)」「かわいい (21%)」。

Q：今の自分のことを「ことば」で表すと、あなたは「どんな人」ですか。

これからいくつかの「ことば」を見せますので、自分にあてはまると思ったら「はい」、あてはまらな思ったら「いいえ」と教えてください。(子ども自身回答)

子ども自身による評価【今の自分】



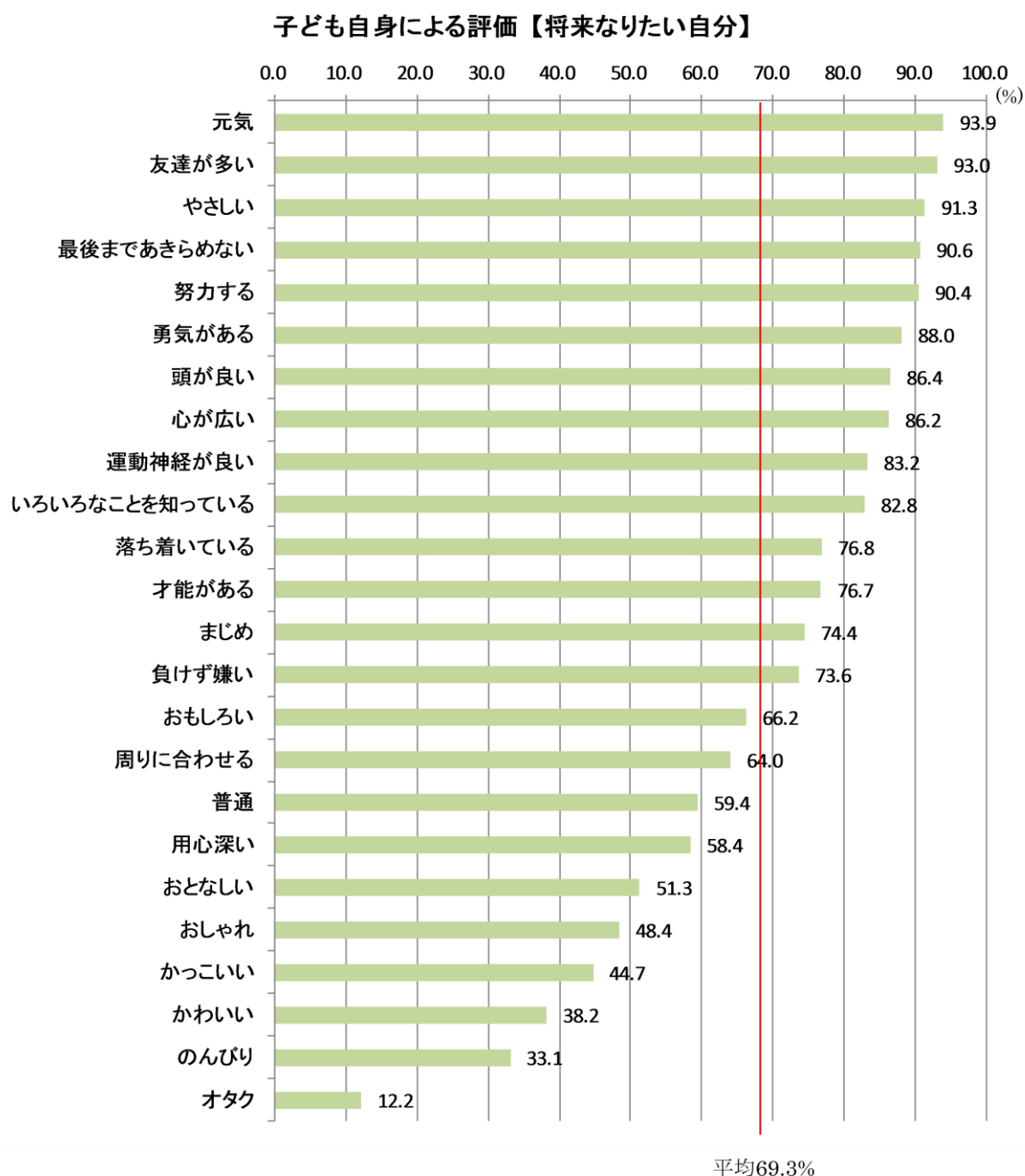
【子ども自身による「将来なりたいのはどんな人」評価】

「将来なりたい自分」では「最後まであきらめない」「努力する」等、頑張ることばが上位に。

- 「将来なりたい自分」トップ2は、「元気 (94%)」「友達が多い (93%)」。「今の自分」のトップ2と同じ。
しかし、「今の自分」で3位だった「普通」は、「将来なりたい自分」で59%と大幅スコアダウン。
- 4位に「最後まであきらめない (91%)」、5位に「努力する (90%)」と、頑張ることばが上位にランクイン。
- 一方、スコアの低い「ことば」は、断トツで「オタク (12%)」。

Q：あなたは将来、「どんな人」になりたいですか。

これからいくつかの「ことば」を見せますので、自分にあてはまると思ったら「はい」、あてはまらないと思ったら「いいえ」と教えてください。（子ども自身回答）



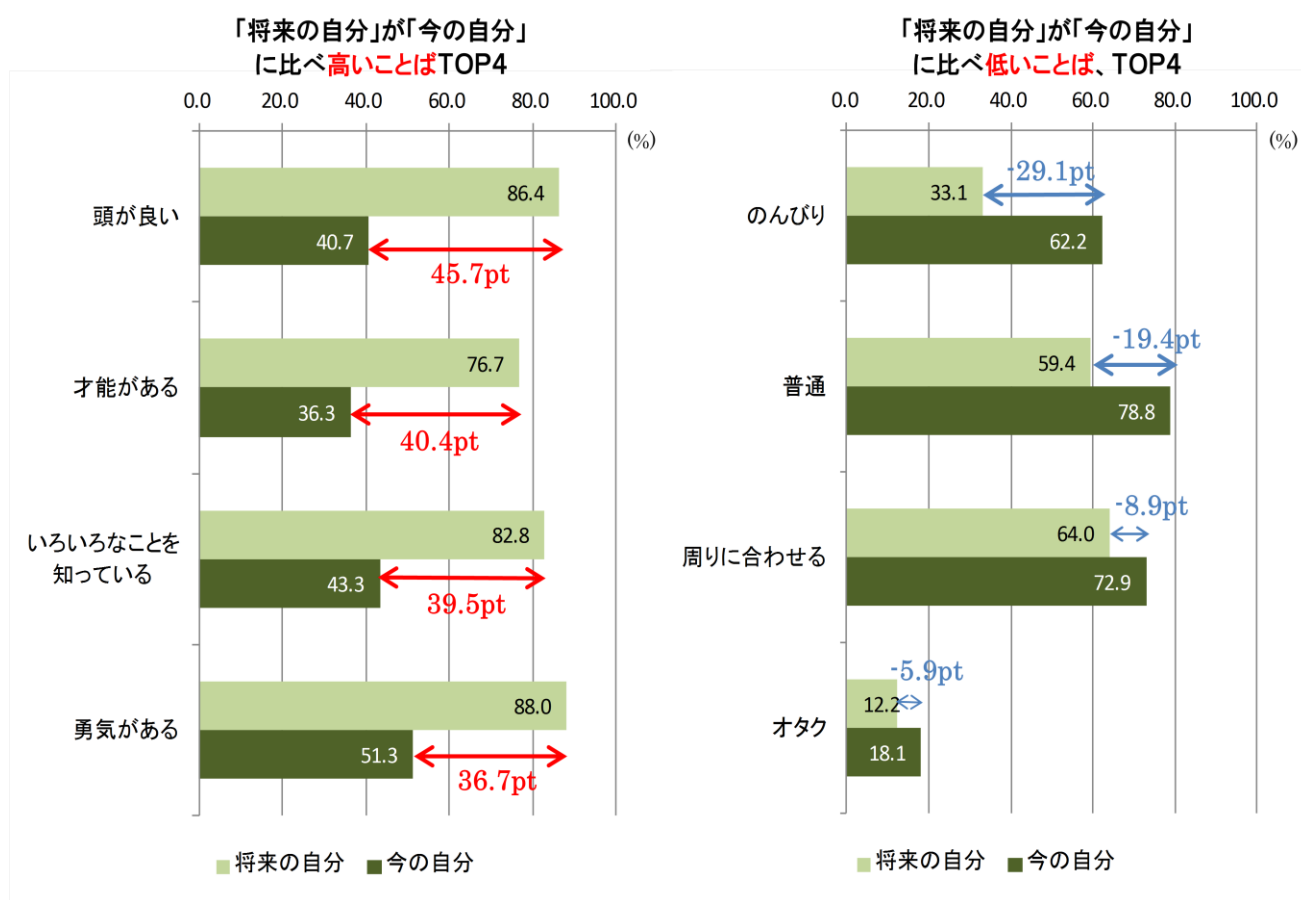
【子ども自身による「今の自分」「将来になりたい自分」 評価のギャップ】

「将来になりたい自分」で、「今の自分」とのギャップが大きい項目は「頭脳系」。

- 「将来になりたい自分」で、「今の自分」に比べてスコアを上げているトップ3は、「頭が良い (+45.7pt)」「才能がある (+40.4pt)」「いろいろなことを知っている (+39.5pt)」。いずれも、頭脳・能力系の項目。
- 逆にスコアを下けているのは、「のんびり (-29.1pt)」「普通 (-19.4pt)」「周りに合わせる (-8.9pt)」「オタク (-5.9pt)」。

Q：今の自分のことを「ことば」で表すと、あなたは「どんな人」ですか。（子ども自身回答）

Q：あなたは将来、「どんな人」になりたいですか。（子ども自身回答）



【子ども自身による「今の自分」、親評価の「今の子ども」評価のギャップ】

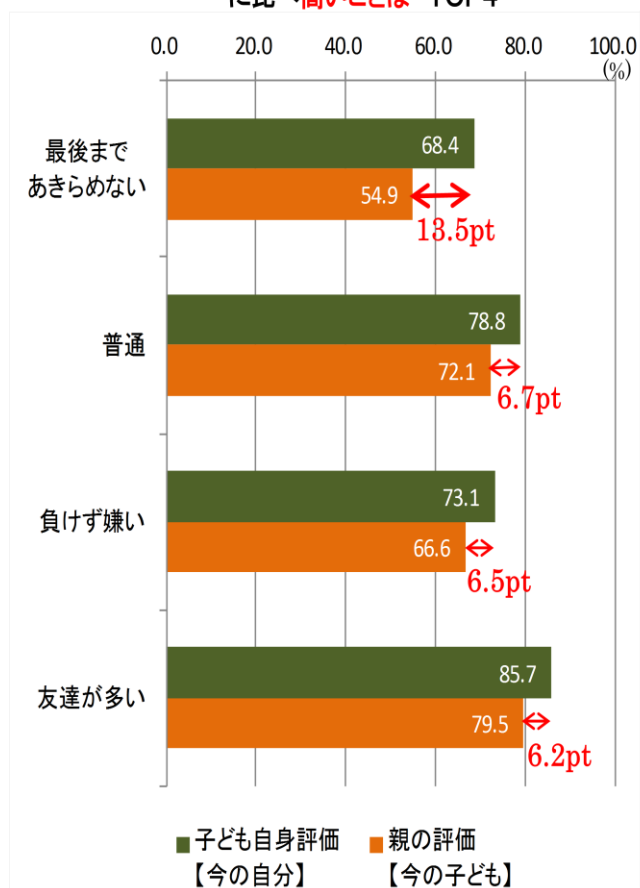
子どもは、親が思うより、自分を「最後まであきらめない」「負けず嫌い」と評価。

- 親評価より、子ども自身の評価が高いのは、「最後まであきらめない (+13.5pt)」「普通 (+6.7pt)」「負けず嫌い (+6.5pt)」「友達が多い (+6.2pt)」
- 逆に親の評価の方が高いのは、「かわいい (-61.7pt)」「才能がある (-32.9pt)」「まじめ (-29.4pt)」「かっこいい (-27.2pt)」。

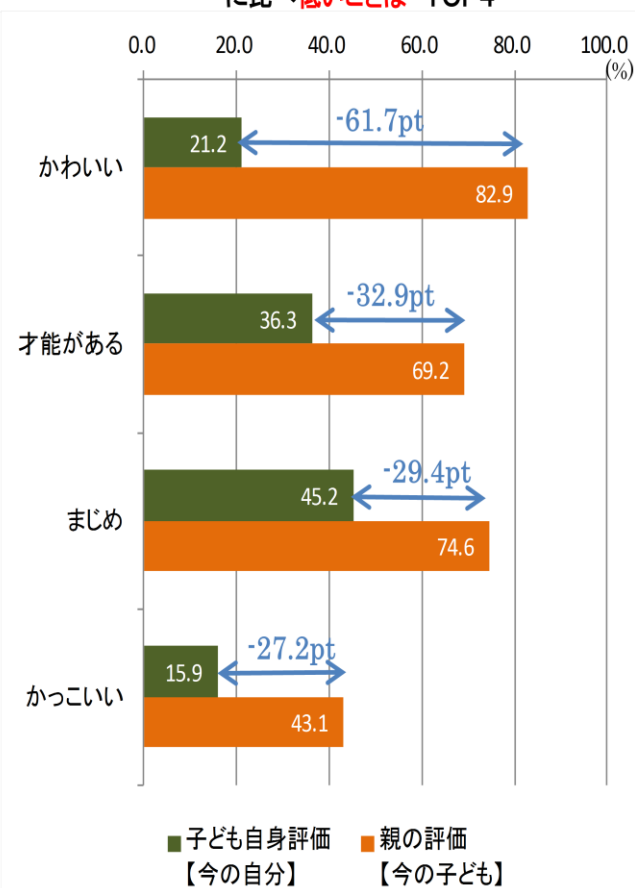
Q：今の自分のことを「ことば」で表すと、あなたは「どんな人」ですか。(子ども自身回答)

Q：お子さんのんことを「ことば」で表すと、「どんな人」ですか。(親回答)

子ども自身評価「今の自分」が、親評価「今の子ども」
に比べ**高いことば** TOP4



子ども自身評価「今の自分」が、親評価「今の子ども」
に比べ**低いことば** TOP4



参考資料⑤

【子ども自身による「今の自分」、教員評価の「今の児童・生徒」評価のギャップ】

子どもは、教員が思うより、自分を「最後まであきらめない」「負けず嫌い」と評価。

●子どもの評価の方が高いのは、「友達が多い (+25.7pt)」「負けず嫌い (+23.7pt)」

「最後まであきらめない (20.7pt)」「勇気がある (18.3pt)」。

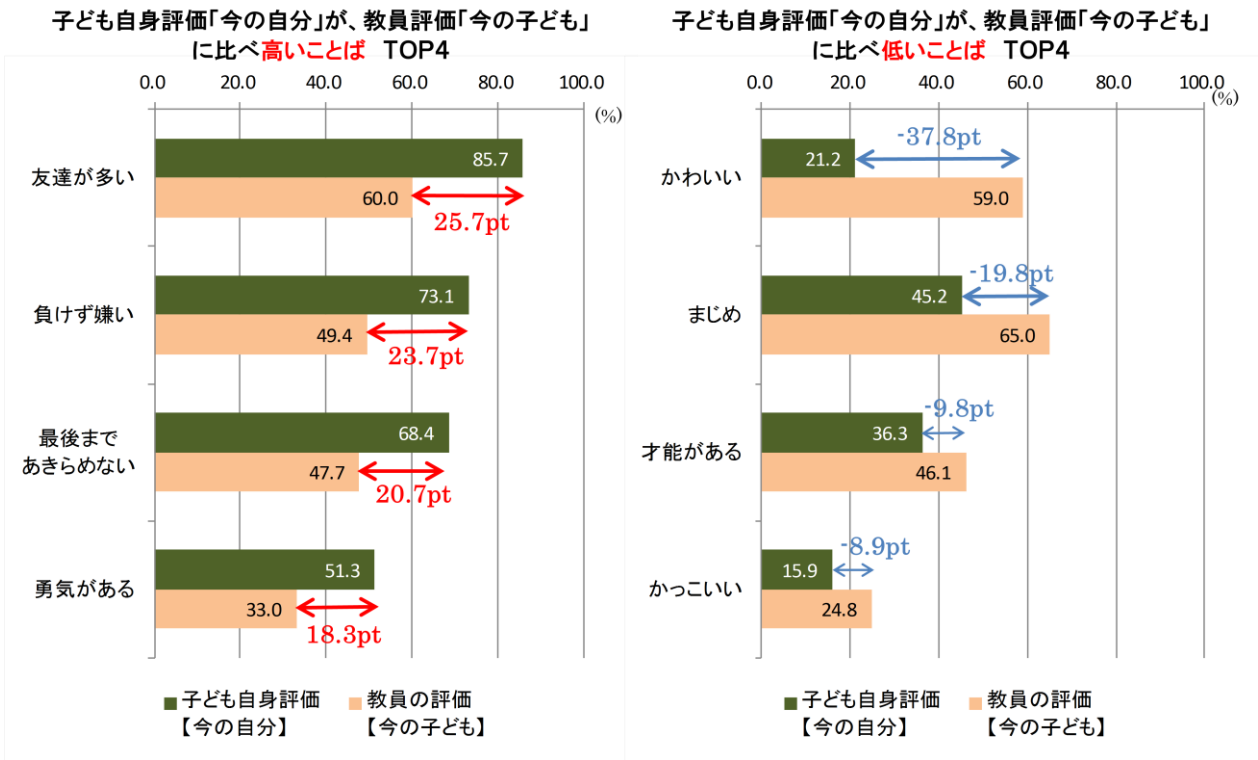
●逆に教員の評価の方が高いトップ4は、「かわいい (-37.8pt)」「まじめ (-19.8pt)」

「才能がある (-9.8pt)」「カッコいい (-8.9pt)」。

Q：今の自分のことを「ことば」で表すと、あなたは「どんな人」ですか。（子ども自身回答）

Q：あなたがいちばん接している児童・生徒のことを「ことば」で表すと「どんな人」ですか。

（教員回答）



【「こどもトライアングル調査 2016」調査概要】

調査地域 全国

調査手法 子ども：WEB 調査＋オペレーターとのビデオ通話によるサポート、親・教員：WEB 調査

調査対象 ①子ども（小学生～中学生の男女） -----1,800 サンプル

②①の父親または母親 -----1,800 サンプル

③小学校～中学校に勤務している教員 -----1,000 サンプル（養護教諭・栄養教諭除く）

	①子ども			②子どもの親			③教員		
	男子	女子	計	父親	母親	計	男	女	計
小学校1年生	100	100	200	100	100	200	230	370	600
小学校2年生	100	100	200	100	100	200			
小学校3年生	100	100	200	100	100	200			
小学校4年生	100	100	200	100	100	200			
小学校5年生	100	100	200	100	100	200			
小学校6年生	100	100	200	100	100	200	230	170	400
中学校1年生	100	100	200	100	100	200			
中学校2年生	100	100	200	100	100	200			
中学校3年生	100	100	200	100	100	200			
合計	900	900	1800	900	900	1800	460	540	1000

（教員のサンプル配分は教員構成比に合わせた）

調査時期 2016 年 11 月 11 日～12 月 23 日

企画分析 博報財団こども研究所・博報堂

実査集計 株式会社クロス・マーケティング